



带状疱疹予防のワクチンについて

今月は「带状疱疹のワクチン」についてです。先月の広報でもお伝えしたように、**带状疱疹は体内に眠っている水ぼうそう(水痘・带状疱疹)ウイルスが再び暴れ出したことによるもので、水ぼうそうにかかったことがある方なら誰でもなる可能性があります。現在、带状疱疹予防のワクチンは国内で2種類**ありますが、それぞれ値段と効果が違います。詳しく解説します。

●なぜ最近、带状疱疹の患者が増えているのか？

- 国内で小児の水ぼうそうワクチンが定期接種化(お金がかからない)になったこと

昔は水ぼうそうにかかる子が一定数いたため、一緒に住む大人が定期的に水ぼうそうウイルスに暴露され、その度に体内で水ぼうそうに対する抗体を上昇させることができ、免疫を維持することができました。2014年より小児の水ぼうそうワクチンが国内で定期接種となり、小児の水ぼうそう患者がかなり減少したため、大人が水ぼうそうウイルスに暴露する機会が減ったことが一因と言われています。



- コロナ禍になり人々のストレスが増えている(こちらに関してははっきり証明されていませんが…)

コロナ禍になり外出や他者との交流の機会が大幅に制限され、ストレスを感じやすい社会になっているのは間違いありません。高齢者では特に外出の機会が減っており、ストレスを感じやすく免疫力が低下し、带状疱疹患者が増えているとも言われています。

●带状疱疹予防のワクチンについて

带状疱疹を予防するワクチンは2種類あり、いずれも**接種可能対象者は50歳以上で任意接種(自費)**となります。

	水痘ワクチン(生ワクチン)	带状疱疹ワクチン(不活化ワクチン)
接種方法	皮下注射(インフルエンザワクチンと一緒に)	筋肉注射(コロナワクチンと一緒に)
接種回数/接種間隔	1回接種	2か月以上あけて(～6ヶ月以内に)2回接種
発症予防効果	带状疱疹: 50% 带状疱疹後神経痛: 66%	带状疱疹: 97% (70歳以上では90%) 带状疱疹後神経痛: 88%以上
効果の持続期間	5年	9年以上の予防効果あり
副反応	接種部位の痛み・腫れ (コロナワクチンよりも軽いです)	接種部位の痛み・腫れ(頻度が多い(コロナワクチンと同程度)が、3日前後で消失)
当院での接種料金	¥8,610	¥41,850 (¥20,925×2回)

●まとめ

- ◇水痘ワクチン: 値段も手頃で1回で済む。だが効果はやや低く、持続期間も含め带状疱疹ワクチンには劣る。
- ◇带状疱疹ワクチン: 値段が高く2回接種が必要で、副反応もやや多い。しかし持続期間も長く予防効果も確実。

带状疱疹はかかると非常に辛く、带状疱疹後神経痛は合併すると一生ものの後遺症になる方もありますので、**水ぼうそうにかかったことがある50歳以上の方は、带状疱疹予防のワクチン接種をお勧めします。**

ワクチンに関するご相談だけの受診も大歓迎です! 接種希望の方は当院に電話で予約下さい。

★8月号は「高血圧」について、当院の看護師からです★



中札内村立診療所
公式HP